

1 特別支援教室の教育目標

個々の課題を改善するために以下の目標を設定しています。

- (1) 自己を受け入れ、他者と関わる楽しさを知り、コミュニケーション力を向上させる。
- (2) 様々な体験を通じて興味関心の幅を広げ、集団の中で状況に応じた行動がとれる力を育む。
- (3) 生活リズムを整え、健康な身体づくりをして情緒を安定させる。
- (4) 将来や進路について考え、行動のプランニングや時間の管理、優先順位を決定するといった自己決定力を育む。

2 指導の内容

- (1) 在籍校での行事や学習場面、人間関係を想定したソーシャルスキルトレーニングを行い、集団の中での生活に汎化できるように指導する。
- (2) 自己理解を含めた進路指導を行い、将来に向けて情緒面でも自立できるよう指導する。
- (3) 書字、読字、計算等学習の基礎となる部分を個に応じた教材を用いて指導する。また、必要に応じてPC等代替手段の活用方法についても指導を行う。

3 教育目標を達成するための基本方針

- (1) 学校生活支援シートに基づき、個々の実態に合った個別指導計画を作成する。
- (2) 個々の課題の改善、克服を目指すためコミュニケーションや人間関係の形成といった自立活動の学習を小集団あるいは個別の学習で行う。
- (3) 拠点校として巡回校と連携して指導内容の充実を図り、個々に応じた

教具教材の工夫を行う。

- (4) 本人の情緒安定及び困難克服のために保護者を含む関係機関と密に連携を行う。

4 利用時間

- (1) 教室利用する曜日および時間は、週1（月1）～8単位時間内で、本人・保護者・在籍校と相談して決める。
- (2) 入室の目的が達成されたと判断されたとき、または他機関や医療などの対応がより適切であると判断された場合には指導終了とする。

5 巡回指導教員・特別支援教室専門員

6 生徒数

	東中			南中			大門中			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	0	1	1	3	0	3	3	0	3	6	1	7
2年	5	1	6	1	2	3	4	1	5	10	4	14
3年	1	1	2	4	0	4	4	0	4	9	1	10
合計	6	3	9	8	2	10	11	1	12	26	6	31

(令和6年6月1日現在)

7 特別支援教室での特別な指導について

特別支援教室では、個々の課題に応じて小集団や個別で「自立活動」の学習を行います。自立活動とは、特別な指導であり「個々の生徒が自立を目指し、障害に基づく種々の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達のための基盤を培うこと」を目標とする指導領域のことを指します。

6 領域 27 項目の中から個々の課題に合った活動に取り組み課題解決に向けて学習します。

自立活動の6区分

- | | |
|-------------|--|
| 1 健康の保持 | 【生活リズムの形成、障害特性の理解など】
例) 整理整頓の習慣化、こだわりへの気づきなど |
| 2 心理的な安定 | 【情緒の安定、状況の変化への対応など】
例) 成功体験から自信へつなげる、興奮の静めかたなど |
| 3 人間関係の形成 | 【他者との関わり方、意図や感情の理解、自己理解、集団への参加の基礎など】
例) 教師との安定した関係づくり、日常の言い回しの理解など |
| 4 環境の把握 | 【感覚の特性理解、補助代行手段の活用など】
例) 過敏さや認知の偏りの理解、PC活用など |
| 5 身体の動き | 【姿勢保持、作業に必要な動作の遂行など】
例) 目と手の協応性や手指の巧緻性の向上など |
| 6 コミュニケーション | 【言語の受容と表出、言語形成、状況に応じたコミュニケーションなど】
例) 人とのやり取りの楽しさを知る、分からない事は自分から聞くなど |

令和6年度

東久留米市立東中学校

けやき教室のしおり



- | | |
|-----|---|
| 拠点校 | 東久留米市立東中学校 けやき教室
東久留米市上の原 2-1-40
042-471-2101(教室直通)
042-471-2765(代表) |
| 巡回校 | 東久留米市南中学校 けやき教室
東久留米市学園町 2-1-23
042-421-9573(代表) |
| 巡回校 | 東久留米市大門中学校 けやき教室
東久留米市大門町 2-13-8
042-474-1753(代表) |